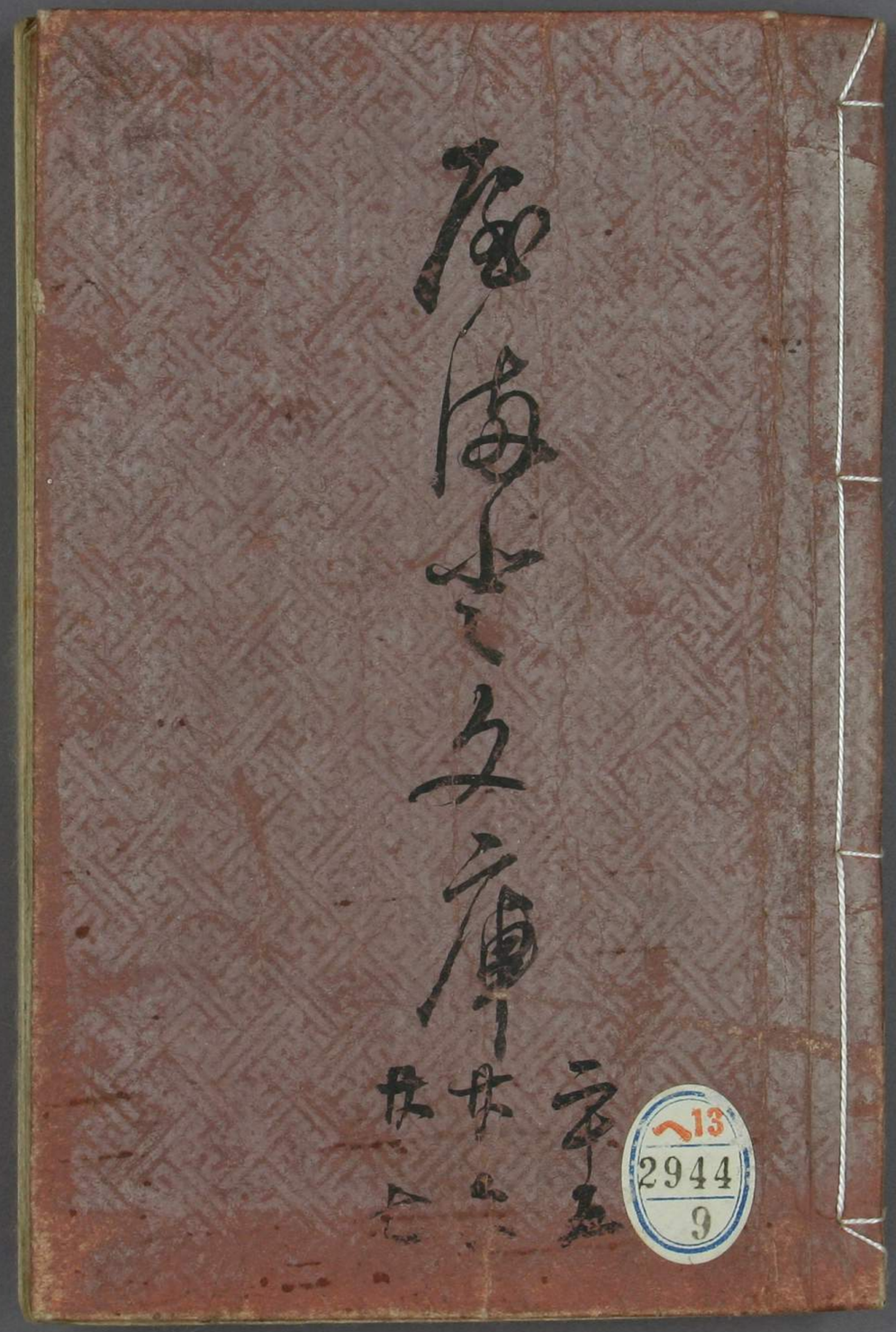

へ13
2944
9

へ13
2944
9

昭和九年
七月九日
購求

倭文庫 廿五篇 上之壹

万亭応賀作
一秀斎国貞畫

春新梓

上州屋重蔵板

万亭應賀作
倭文庫二拾五編
二世歌川國貞画
弁慶與五郎
上
下

釋迦八相倭文庫二拾五編序

一經ふ曰中天竺迦毗羅維衛國ふ於て四月八日ふ釈迦菩薩と誕生
御長丈六尺也四月九日ふ難陀と生長丈五尺四寸白飯王四月八日ふ
調達を生長丈五尺四寸四月十日阿難を生長丈五尺二寸斛飯
王摩訶男阿那律を生甘露飯王汲々跋提を生ト尓ハあ是ど
是を證ふ採ぞ又一經ふ調達ハ本名調婆達寸ぞ則提婆
達多のことあらされば是を証として折指大子名を改ぞ阿闍
世太子と号よ釈迦如来寂場樹下ぞ廓然大悟の空寂迄
と予空寂の戒心より皆く法の道草にと眼覚ーげふ著せど拙
き噂ふ若かゝバ只々嘘とまる而已ふ

嘉永六年
癸丑孟陽

一力亭應賀誌

折指太子
名を
阿闍世太子
と改む

頻婆娑羅王の一子折
指太子波羅天要の山中
ふ待倉しく侍女の為災
難ふ逢ひ提婆達多
霊丹を取んとそ折しく
彼山ふ来り太子を助て
家ふ戻り所有外道魔
術と見せしめ已身方ふ
ゑ為ふ養育て鎧
の着初を賀し名を阿
闍世太子と改め尚も
魔法を学ひむ

提婆
達多
又一名
調達
とも

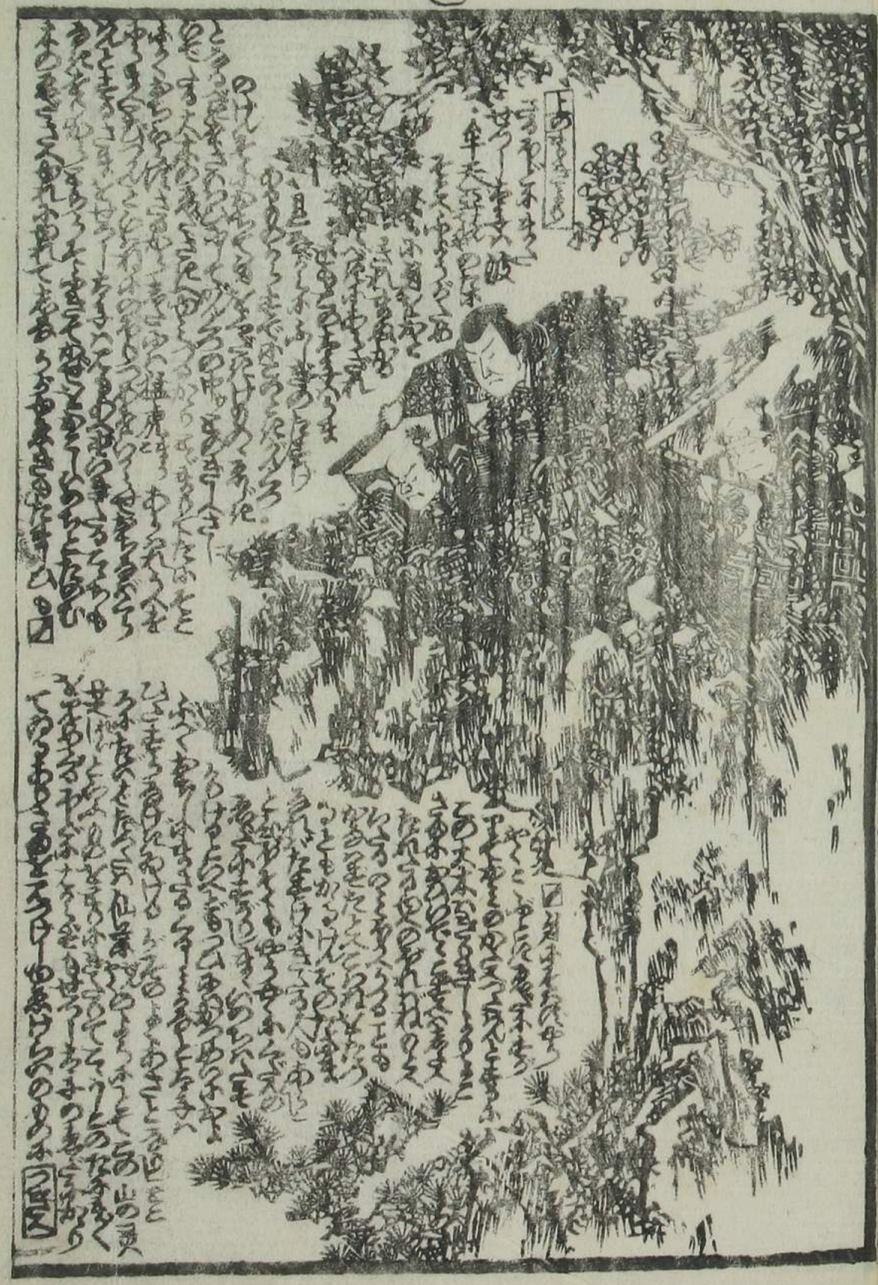
空寂仙

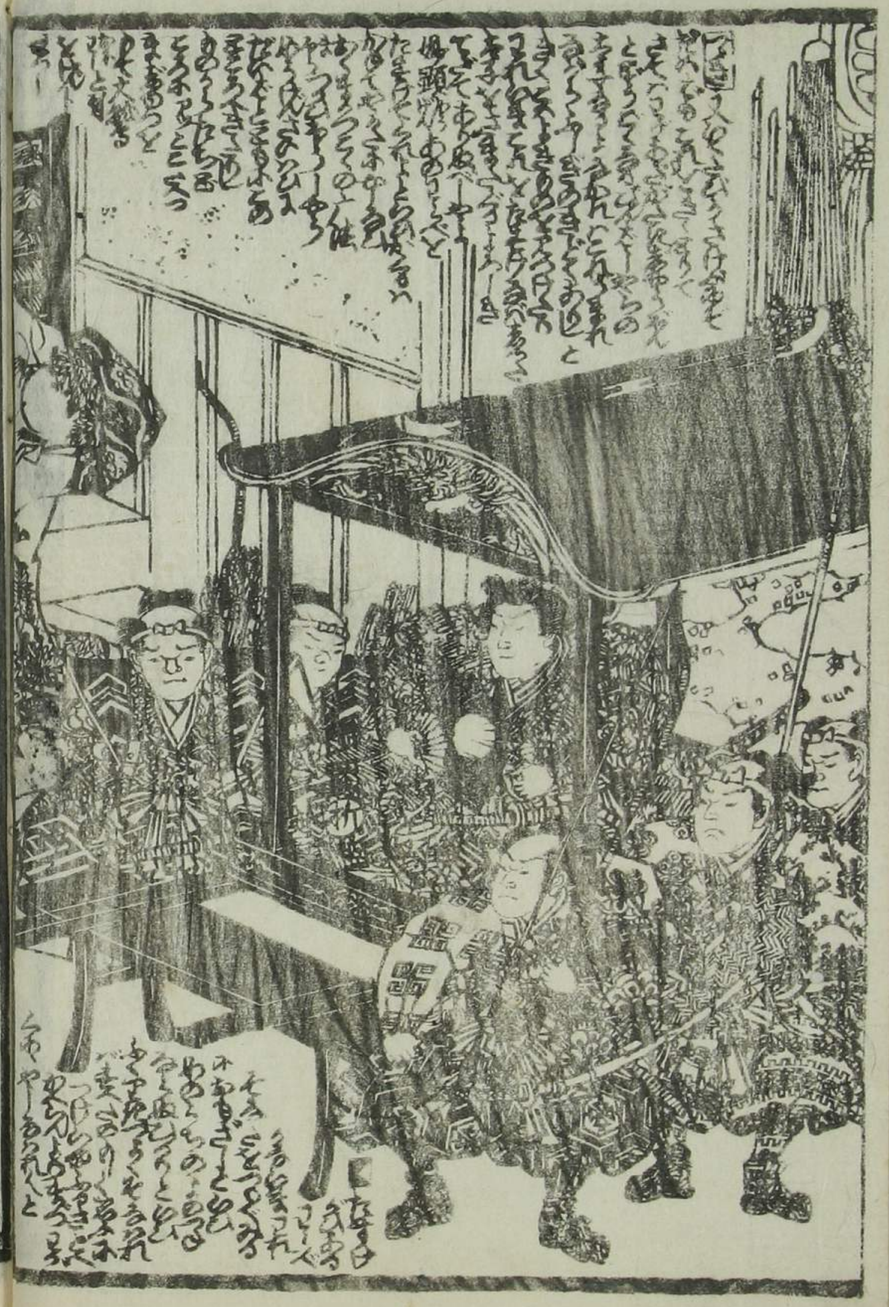
悉達太子雪山の寂場樹下
空寂仙ゝ見元因位八
千度の物語を聞瞬月八日
の暁ゝ明星の光を戴て
雪山を出さ給ふ
三界の大教主
釋迦牟尼如来

頭
月
花

月

應賀作國貞画





前
周
提

釋迦如来の因位
八千度の内
薩埵王子

釋迦如来の因位
刪提嵐國の宝
海梵志

万亭應賀作 二寿斎國貞画

清書 谷金川

倭文庫二拾
六編上之卷

應賀作
國貞画

丑之春
新梓行　錦重堂版

倭文庫二拾六編

万亭應賀作

升題曲亭團包

嘉永六年
丑春新刊

二世歌川國貞画

上

下

倭文庫
二拾

六編
下之巻應賀

作國貞亜錦
重堂梓癸丑
初春新稗史

稗迦八相倭文庫二拾六編　序

或人予ふ問て曰そも此冊子い釈迦八相と題しぐう如来の傳記ふ大ふ遠ひ又年月合ぐるところもあり又六編の序の始ふ却説とキしい如何ぞ予答て曰その三事皆理あり汝我が由ハ似れどもその細沢をいまべし世ふ如来の傳記山々あり十部寄ばば十種の説あり何を採て證とせんや然ば数経の説を拾著て原より大人の閲めるべきねば假名手ふ書ふの遠ひとい

ともむ唯少男女の目覚まふ今招の人情と司て俗語とのつてもるのうるべ一寸も太子の生涯巻ありてい此編ふ限るべうるべ叔年月をと正さんとまれば前後の書離て童蒙のうち悪しけれぞその場ふよりて先と操揚一編の中ふ結とあり縦令一編の草紙のうちに大子と王宮のことあるとも年月綽毎ふ合ふ及ぶ又合ふる場もあり其の脇の遠もとれふ准ん那て大子のあるべきい大子のことをくとぐ不漬づけてアるは亦六編の叙の却説ふ

も無粋仁ふ他人いまで野生をどいかるる抜きふる本どれの序文ふもを実と入て居る問

笑ふ人笑ふ者予ハ又その人と笑ふ此後とそもそれきのと改めてある脇カいるとと強情

けれい傍客のいふ随せ或い傭書の筆勢ふ任せるとも此あれば其ちの念ふ足ぜ

述て帰しまた看官方もその意して出版されてくだされ

嘉永六癸丑年孟陬開市

万亭應賀誌

悉達太子の御産忍の宮ゟ羅睺羅太子と御名を給り皇太子ゟ立ちそ

優陀夷大臣

耶輸陀羅女

難陀太子の乳母羅睺羅太子

△害せんと階下ゟ隠ぶ

羅睺羅太子

優陀夷の女房

耶輸陀羅女の局女中

曲亭周包

難陀太子の附人優波離臣

命婦

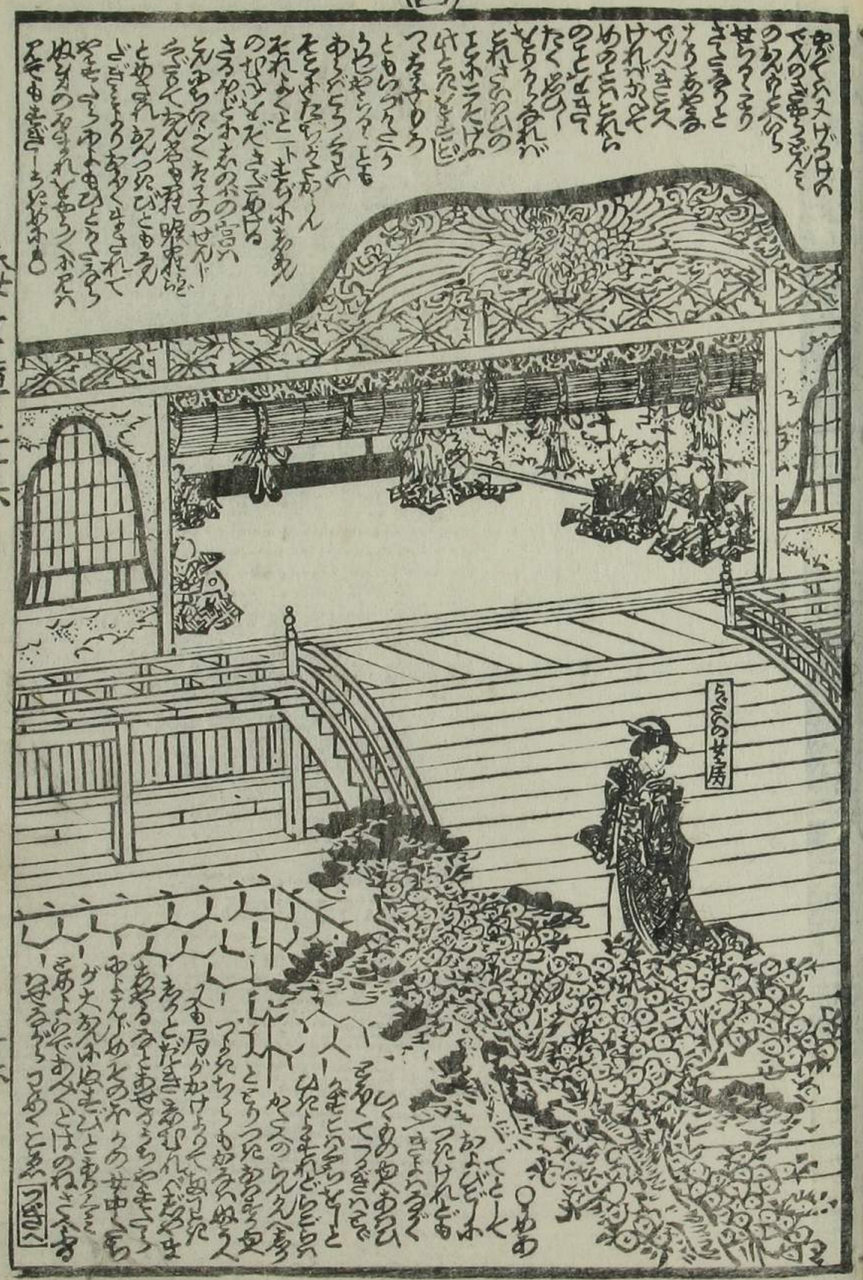
難陀太子

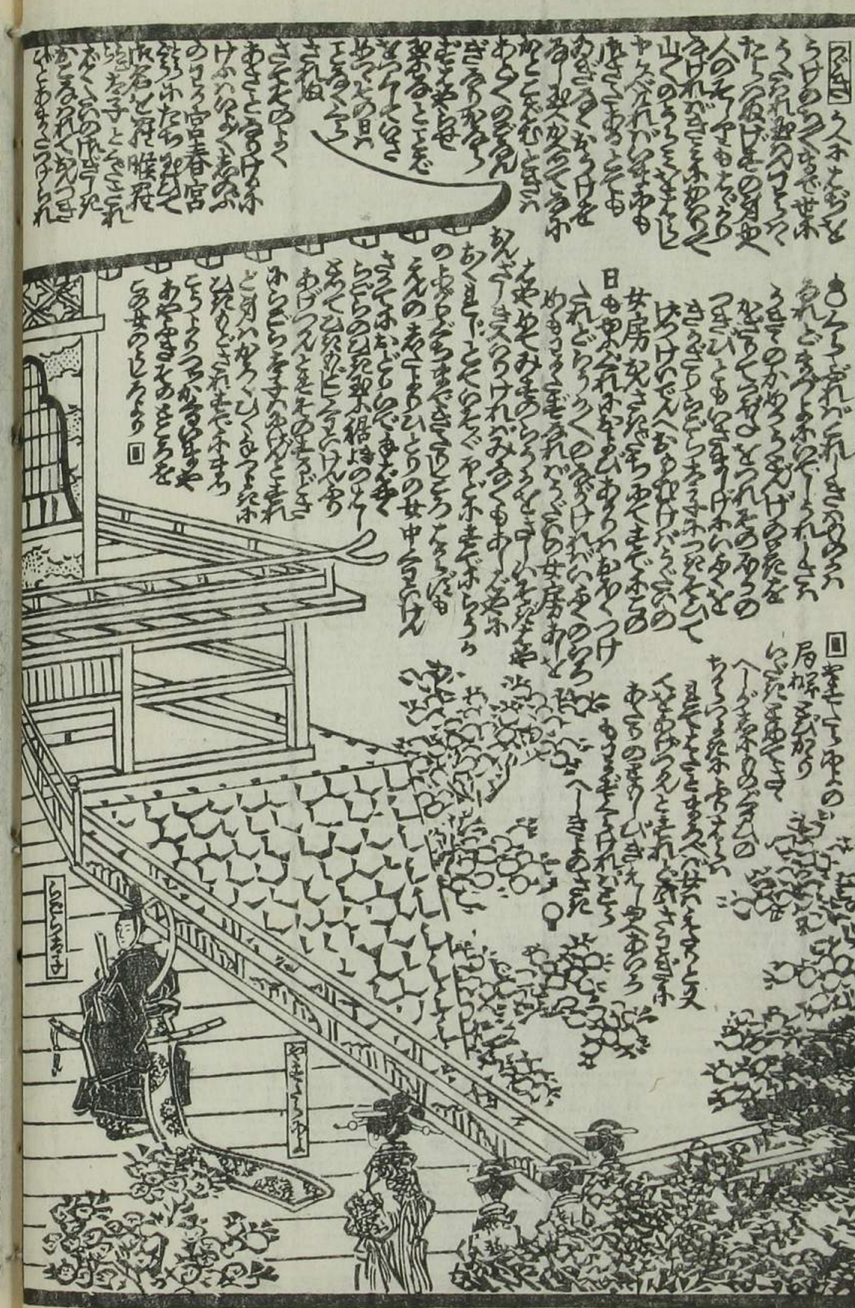
御世継の親王
難陀太子の
離宮を
哀
命婦秘ホ
従者の連
名を傳る

好容婦人

曲亭馬琴

應賀作
國貞画
右


らくらくの女房


しらさしのまさ
やまとのうつ

万亭應賀作

二世歌川國貞画

俵文庫

二拾七編

立春

庚寅作

國貞画

錦重堂梓

万亭應賀作
甲寅春
新刊
倭文庫二拾七編
二世歌川國貞画
錦重堂版
仲題豊国画
上
下

釋迦八相倭文庫二拾七編序

夫悉達太子出山ゆゑ朔風破衲を飄し積雪敗華を埋然燈の記を受ず獨歩して釈迦と號を初七思惟し畢て雅音頻伽ゆ比を唯根熟のゆゑ為ゆるゆ似て華嚴四阿ゆ先景鄽普與龍耳唖交叅して龍蛇を雜ゆ奈苑ゆ敝廿垢を衣て珎御の舍那を隱さと正書ゆ見えず奈苑と是鹿野苑也されば茲ゆ六度集經をひきて鹿王の戒を著し又仁王經の須陀摩王と班足王の不安語戒を堅立太子と尼狗陀天子ゆ摹擬て聊佛心の法味を蒔とぞ

嘉永七甲寅年
孟春吉辰開市

万亭應賀識

九十九人の國王は五戒を授かり阿羅漢果を得させ給へ
九十九人の國王
尼拘陀天子及び
並に
竪立太子と鹿王を度
尼拘陀天子
竪立太子

釈迦如来野苑に
煩悩
眷屬の鹿王
鹿野苑の群鹿五百の
阿耆耶尼國の

摩伽國の優楼頻螺加葉其二人の従弟

那提加葉

寶錦女

那提加葉

伽闍加葉

釋迦如来と害せん為龍王の嬢寶錦女無垢錦女と

伽闍加葉

已家連る

優留頻螺加葉

無垢錦女

波羅那國
鹿野苑

應賀作　國貞画

万亭應賀作
一壽齋國貞画

應賀作
国貞画